ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより　７月号（No.７）

令和２年７月１７日発行

今のこと・将来のこと

「７月 24 日は、東京 2020 オリンピックの開会式です！」と活気あるフレーズがそこかしこから聞こえ、日本中が盛り上がっているはず、だったのですが、主役は取って代わって新型コロナウイルスです。誰が今の状況を予想できたでしょうか。

さて、来週の 22 日で１学期の学習活動が終わります。この間、学校は新型コロナウイルス感染防止のために臨時休業の措置をとったり、遠足、運動会、宿泊学習などを中止したりと「Stay School（ｽﾃｲ ｽｸｰﾙ）」の対応を取ってきました。登校できない、楽しみな行事が無くなったことは、とても残念なことです。しかし、教職員の創意工夫により、日々の学習に新しい内容を加えたり、学習のステップをより細かにしたりして充実した学習となるようにしてきました。振り返ると、ゆとりある時間の中で、落ち着いて学習ができるというメリットを生かして活動することができたと思います。

現在も新型コロナウイルス対応が進行形で、新しい生活様式の実践など、私たちも社会も今できることを進めてきています。しかし、それだけでいいかと問われれば、十分ではありません。学校教育では、新学習指導要領に基づいた学習活動の推進、ＩＣＴを活用した学習、命を守るための行動様式の定着など様々な課題があります。これからも、子どもたちの将来を見据えて取り組んでいきます。

ところで、予測できない出来事が起こる昨今、ひすいの子どもたちの「今」そして「将来」は？少し心配になります。それを克服するためには、子どもたちの「生きる力」を育む、それしかありません。言い換えれば「自立・社会参加」の力です。

身近なところで「挨拶」を取り上げてみます。学校では「おはようございます」などの音声表出やその子なりの仕草を基本に、相手に体を向ける、顔を見る、頭を下げるなどの行動面、挨拶を言ったときやされたときの気持ちなどの心理面も含めて、挨拶の仕方が身に付くように繰り返し指導しています。

挨拶は学校だけでなく、子どもたちが生活する地域社会、学校を卒業した後の就労先でも必須のものです。以前、ある事業所の方と就労に関する話をしたときのことです。「うちで採用した障害者雇用の社員の挨拶がとっても良くってね。朝、出勤するとみんなに元気よく挨拶をするんですよ。他の社員もそれに応えて…。会社が明るくなりました。」というエピソードを紹介してくれました。そして「みんなに可愛がられてね。採用してよかった。仕事は会社に入って教えるから、できなくていいんです。」とも付け加えられました。たかが挨拶、されど挨拶です。今、家庭と学校で協力しながら取り組んでいる一つ一つの事柄は、子どもたちの将来への準備であり、社会生活に生きて役立つものです。

それならば、と、あれこれと考えるのですが、一時に強いることは決してプラスにはなりません。子どもの発達や特性、心身の状況等を考慮しながら、課題を検討し、時期を捉えて焦らずじっくりと働き掛けていくことが大切です。つまり、将来の自立と社会参加に向けての戦略的アプローチです。

夏休みに入ります。目の前のお子さんの様子を見ながら、将来の姿を思い描いてみてはいかがでしょうか。そして、今から準備した方がよいと思われること書き出してみるといいと思います。「この点はこれまでどおり。」「ここは課題だからこうする。」「これは…？」前もって心づもりをし、迷うところは学校や関係機関に相談するとよいでしょう。転ばぬ先の杖、転んでも杖（見通し・計画）があれば起き上がれます。

第１回学校運営協議会について

６月 30 日（火）に第１回学校運営協議会が行われ、事業計画等について話し合われました。当校の委員は、学区が糸魚川市全域に当たることから糸魚川、青海、能生の三地区の代表者と有識者、ＰＴＡ代表、学校職員の合計８名で構成されます。

【組織】（敬称略）

	役職	氏　名	所　属	備考
1	会長	松 澤　隆 一	青海地区支館連絡協議会代表	青海地区代表
2	副会長	矢島　トミエ	能生地区民生委員児童委員協議会会長	能生地区代表
3	委員	斉 藤　和 義	糸魚川地域連合区長会事務局長	糸魚川地区代表
4	委員	清 岡　　誠	支援センターささゆりセンター長	学識経験者
5	委員	山 本　　修	地域学校協働活動推進員	学識経験者
6	委員	横川　かすみ	ひすいの里総合学校　ＰＴＡ会長	保護者代表
7	委員	本 間　　勲	ひすいの里総合学校　校長	学校職員
8	委員	飯 田　貴 裕	ひすいの里総合学校　教頭	学校職員（事務局）

【事業内容】

・学校運営協議会は学校と共同し、学校課題の解決に向けて熟議を行い、学校運営を評価、承認する。
・学校は、オープンスクール、授業参観、行事等の教育活動を地域、保護者に公開する機会をもち、教育活動の「見える化」を推進する。
・学校運営協議会と学校は協働し、学校の教育環境を整備し、充実する。

【活動予定】

・６月３０日（火）学校運営協議会①　　・９月９日（水）学校運営協議会②
・２月１６日（火）学校運営協議会③

◆個別の指導計画について◆

昨年度１２月のＰＴＡ全体会で提案し、２月の拡大ＰＴＡ役員会で確認させていただいたように、当校では、今年度から教育活動を三期制から**二期制に変更**し、それに伴って評価（個別の指導計画）を前期（４月～９月）・後期（10 月～３月）の２回とします。

そのため、昨年度まで１学期末の教育活動の評価としてお渡ししていた個別の指導計画は、７月にはありません。前期分は、10 月にお渡しすることになります。ご理解いただきますよう改めてお知らせいたします。

なお、市の規程により、一年の区切りである１学期・２学期・３学期は存在しますので、暦の上での三学期制と教育活動の二期制が並立することになります。

◆教育広報誌「かけはし」◆

新潟県教育委員会と家庭・地域をつなぐ教育広報誌「かけはし」４８号が発行されましたのでお知らせいたします。

「かけはし」は、昨年度まで新聞形式の便りとして、年２回、学校を通して各家庭に配付されておりました。今年度からは、インターネットによる電子配信となりました。パソコンやスマートフォンなどを利用されてご覧ください。

＜閲覧方法＞

① 検索サイトで**「新潟　かけはし」**と打ち込んで表示させる。
② 以下のアドレスを打ち込んで表示させる。
https://www.pref.niigata.lg/uploaded/attachment/225095.pdf